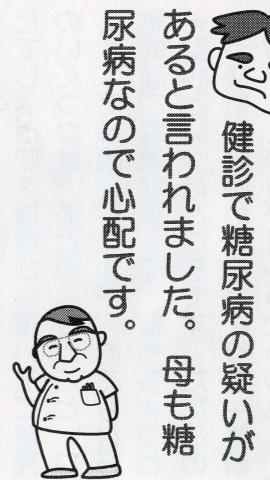


このコーナーは、皆さまからよくお聞きされる質問を取り上げて解説するコーナーです。第2回目は糖尿病に関するものを取り上げます。

健診で糖尿病の疑いがあると言われました。母も糖尿病なので心配です。



糖尿病は、今やめずらしい病気ではなくなりました。2千年前には日本で800万人の患者がいると予想されており、5人に1人は糖尿病であるという時代がすぐそこまで来ていました。糖尿病の恐ろしさは、相当に病気が進んで、悪くなるまで「自覚症状が出ない」ことがあります。つまり、「最近よくのどが渇いて、尿量が増えた。」とか「以前からよく太っていたが、別にダイエットをしているわけでもないのに、最近痩せてきた。」とか、さらに男性の場合には、最近テレビのコマーシャルでも見かける、ED（勃起不全）などの症状が出てきたときには、すでに相当期間、高血糖の状態が続いていると考えられ、できるだけ早く、治療を行わないと、恐ろしい、いろいろな合併症が出現し、場合によっては、日常生活にも差し障りが出るような後遺症を残しかねません。

記念すべき第1回は、藤原内科のお隣の、「川村産婦人科」です。川村産婦人科は、今から47年前に川村仁愛（ひとえ）先生が高木町に開業された歴史のある産婦人科です。現在は一代目の直行（なおゆき）先生の時代となりましたが、仁愛先生もまだ現役でがんばっておられます。数年前に建て替えをされて、まるで高級ホテルか、レストランのような、豪華でしかも気品のある建物になり、まさにレディスクリニックと呼ぶにふさわしい雰囲気があります。今回は5階にある、小綺麗な喫茶室で、川村直行先生にお話を伺いました。

藤原 今日はお忙しいところお時間を頂
き、ありがとうございました。早速いろ
いろお話を聞かせていただきたいのです
が、まず、現在の少子化時代に「選ばれ
る産婦人科」として、何か考えておられ
ることはありますか？

新編 一二三、二

があるんでしょうか？

川村 まあ週刊誌などの影響もあるんで
しきょうが、例えば無痛分娩を希望される
方も増えてますね。ただ無痛分娩をし
ようとするとき、陣痛促進剤を使わないと

藤原 内診があるかどうかを気にする患者さんはいらっしゃると思うのですが。
川村 それは、訴えの内容にもよるでしょう。「オリモノが多くて…」という訴えで来られているのに内診をしないわけにはいきません。誰でも歯医者さんに行

An illustration of a ladybug with large, expressive eyes and antennae. Above the ladybug, the following hiragana characters are arranged in a curved arc: ち, あ, じ, ゃ, つ, と, め, む, く.

 藤原 なるほど
ではちょっと話題を変えて、最近使えるようになった、「低容量ビル」について

。 民検診 内の回 非受診 藤原 りがと 感想

(個別検診)を
齧等で、日時を
される」とおお
今日は、大変参
つじやござました

行っています。町
じの確認になり、是非
勧めします。

る悪
が。
すでに中等症量のピルは使われてきてい
るわけですから、それよりもさらに安全
性についても、全く問題ありません。
というわけです。ただこれが広まるここと
によって、中絶手術が減るという意見も
あります。私はそうは思いません。や
はりモラルの問題ではないでしょうか。

ぱと思ひます。
藤原 なるほど
ではちょっと話題を変えて、最近使えるようになつた、「低容量ピル」については、どのようにお考えですか？

川村 女性にとっては、安全な選択肢が増えたという点で、よいことではないでしょうか？希望者はお渡ししていますが、あって宣伝などは行つていま

民検診（個別検診）を行つています。町内の回覧等で、日時を正確認になり、是非受診されることをお勧めします。

藤原 今日は、大変参考になるお話をありがとうございました。

感想 実は、私も初めて中へ入らせていただいたんですが、5階の喫茶室からの眺めは最高でした。お約束した時間は、手術の後の時間だったので、直行先生はポケットベルを胸に入れて、容態が変化すればいつでもすぐに駆けつけられるようにしておられたのが印象的でした。やはり、内科と違って産科の場合は主に「若い女性」が対象ですから、その点、いろいろと気苦労が多くないのではないかと思いました。（いや、お年寄りの方には気配りが要らないという意味ではありません。念のため（笑））直行先生のお人柄はとってもソフトで、しかもお話は言葉を選んでゆっくり話されますので、理路整然としてわかりやすい。なるほど…。ちょっとほめすぎたかも知れませんが、川村産婦人科の人気の秘密を垣間見ただような気がしました。

藤原 最後に、産婦人科医としての先生のお立場から、患者さんに対して何か、一回お話しをせんでしょうか。

川村 そうですね。最近京都市では子宮癌の患者さん、特に進行癌の方は明らかに減ってきてます。これはやはり検診の成果ではないでしょうか。ただ、集団検診は受診率が悪い。まあプライベートな部分の多い問題ですからね。そういう点では、個別検診が重要な役割を果たしていると思います。当院でも子宮癌の市民検診（個別検診）を行っています。町内回覧等で、日時を確認になり、是非受診されることをお勧めします。

藤原 今日は、大変参考になるお話をありがとうございました。

感想 実は、私も初めて中へ入させていたいたんですけど、5階の喫茶室からの眺めは最高でした。お約束した時間は、手術の後の時間だったので、直行先生はポケットベルを胸に入れて、容態が変化すればいつでもすぐに駆けつけられるようにしておられたのが印象的でした。やはり、内科と違うって産科の場合は主に「若い女性」が対象ですから、その点、いろいろと気苦労が多いのではないかと思いました。（いや、お年寄りの方には気配りが要らないという意味ではありません。念のため（笑））直行先生のお人柄はとってもソフトで、しかもお話は言葉を選んでゆっくり話されますので、理路整然としてわかりやすい。なるほど…。ちょっとほめすぎたかも知れませんが、川村産婦人科の人気の秘密を垣間見えたような気がしました。

ですが…？皆さんと一緒にがんばりま
す。



糖尿病で、インシクリンを打っています。最近週刊誌でインシクリンをうつと、ぼけることがあると書いてあ
りましたが、本当ですか？

こと)ですが、まだ糖尿病と決まった訳ではありませんから、まずはお近くのかかりつけ医にご相談下さい。健診結果を持って行かれるとよいでしょう。たゞお母様が糖尿病ということは、あなたも糖尿病の素因(=病気になりやすいこと)を持っている可能性があります。仮に今は糖尿病ではないとわかっていても、将来発症しないとも限りません。今から、きちんとした食生活(=バランスのとれたメニュー、総カロリーは1600kcal~1800kcal\日)と、適度な運動を中心がけましょう。ちなみに、私も父が糖尿病であった関係で、体重や、血糖の値は定期的にチェックしています。本当はもう少し痩せなうといひ方の

An illustration showing a doctor in a white coat and glasses on the right, gesturing with his hands as if explaining something. In front of him is a patient wearing glasses, looking towards the doctor. Between them is a large, stylized text "お答えします" (We will answer). To the left of the doctor is a vertical column of text about blood glucose monitoring and insulin therapy. The background is light blue.

糖尿病が進行し、
自身の脾臓から
出るインシゴンが